

むつ市議会だより

編集 むつ市議会広報広聴委員会
発行 むつ市議会
青森県むつ市中央一丁目8番1号
☎22-1111

—第229回定例会— 平成28年8月29日～9月23日

むつ市議会第229回定例会が、去る8月29日から9月23日までの26日間の会期で開かれました。

今定例会では22議案・5報告が上程され、審議の結果、それぞれ可決・認定・報告されました。

「むつ市議会だより」では、定例会におけるそれぞれの議案の審議内容、議決の結果、一般質問の要旨、各常任委員会の活動等について、ご紹介します。

主な議案の説明

【議案第44号】むつ市過疎地域自立促進基金
条例

むつ市過疎地域自立促進計画に基づく過疎地域自立促進特別事業に係る事業年度間の財源調整をするため、基金を設置するもの

【議案第45号】むつ市総合開発審議会条例の一部を改正する条例

むつ市議会からの通知を踏まえ、むつ市総合開発審議会の委員にむつ市議会の議員を選出しないこととするため、条文整備をするもの

【議案第46号】むつ市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

廃棄物の減量およびリサイクルを推進するとともに受益者負担の適正化を図るため、一般廃棄物処理手数料のうち指定ごみ袋に関する手数料の額を改定するもの

【議案第47号】工事請負契約について（大畑町魚市場建設第2期工事（建築工事）に係る工事請負契約を締結するためのもの）

契約の目的
大畑町魚市場建設第2期工事
（建築工事）
指名競争入札

契約の方法
契約の金額
契約の相手方
3億9096万円
杉山建設工業株式会社

【議案第48号】むつ市過疎地域自立促進計画の変更について

過疎地域自立促進特別措置法の規定に基づく財政上の特別措置を活用するため、むつ市過疎地域自立促進計画の一部を変更するもの

【議案第51号】平成28年度むつ市一般会計補正予算

歳出については、下北半島と青森市を結ぶ離島航路の運行に係る補助金のほか、増加が見込まれるふるさと納税の寄附者の皆様への謝礼に要する経費並びに財政調整基金、ふるさと納税寄附金基金および新たに設置する予定の過疎地域自立促進基金への積立金、有料老人ホームのスプリングラー整備等に係る地域介護・福祉空間整備補助金、B型肝炎ワクチン予防接種の定期接種に伴う助成に要する経費、就農初期段階における青年就農者の支援のための給付金、海と森ふれあい体験館の屋根の修理工事費、後年度の元金償還および利息負担の軽減のための長期債繰上償還金、一般社団法人むつ下北医師会が指定管理者となっているむつリハビリテーション病院の平成27年度決算に係る赤字額を補填するため、一部事務組合下北医療センターに対する負担金を増額する一方、掘削工法および掘削地点の見直しに伴い、燧岳周辺地域地熱開発関連事業費を減額したものの歳入については、国・県支出金には歳出との関連において補助見込額を、財産収入には旧本庁舎跡地に係る貸付料、寄附金にはふるさと納税寄附金を、繰入金にはふるさと納税寄附金基金繰入金および減債基金繰入金を、諸収入には地熱資源開発調査事業費助成金の交付見込額および建物災害共済金を、市債には事業との関連において借入見込額を、繰越金には前年度決算剰余金を計上したものの補正額（増額補正）

3億4543万9000円
【議案第52号】平成28年度むつ市国民健康保険特別会計補正予算

歳出については、C型肝炎等の高額な治療薬が保険適用されたことによる医療費の増加に伴い、共同事業拠出金を増額したもの

歳入については、共同事業拠出金の増加に伴い、国庫支出金、県支出金および共同事業交付金を増額したものの補正額（増額補正）
1億3899万9000円

【議案第53号】平成28年度むつ市介護保険特別会計補正予算

介護給付費負担金等の精算に伴い、国・県および支払基金への返還金が生じたこと並びに地域支援事業費の人員費増加に伴い増額するもの
補正額（増額補正）
1億1278万3000円

【議案第64号】財産の処分について

むつ市分収林設定条例の規定に基づく契約により設定した分収林の立木を売り払い、その収益を造林者との間にあって分収するためのもの

【報告第28・29号】専決処分した事項の報告について（和解及び損害賠償の額を定めることについて）

平成28年2月1日に発生した自動車事故（報告第28号）、平成28年7月15日に発生した自動車事故（報告第29号）について、和解し、損害賠償の額を定めたもの

※平成27年度一般会計決算および各会計決算における審査内容については14・15ページをご覧ください。

議案に対し、通告のあった質疑とその答弁および討論等についてご紹介します。

【議案第46号】むつ市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

○質疑 手数料引き上げによる年間増収見込額はいくらか。

▼答弁 平成26年度実績と同程度のごみ排出量の場合、概ね2800万円程度の歳入増となる見込である。なお、ごみ排出量が減り、分別リサイクルが進んだ場合、ごみ袋の購入枚数も減ることから歳入も減少することとなる。

○質疑 ごみ袋は45リットルと22・5リットルの2種類だが、中間の大きさを求める声がある。種類を見直す考えはないか。

▼答弁 袋のサイズについては、様々な要望が寄せられている。平成20年7月のむつ市廃棄物減量等推進審議会での意見では、ごみ袋の種類が増えれば店頭スペースの確保が難しくなる、22・5リットルの小サイズと中サイズの大きな差異はない、世帯構成によりごみ排出量は大きく異なるので、袋のサイズで対応すれば際限がなくなる等のことから、審議会では不要ではないかと結論を得ている。

○質疑 ごみほどの程度減る予定か。

▼答弁 人口減少もあり、排出量は減少傾向にあるが、市民1人1日当たりのごみ排出量は横ばい傾向にある。今回の改正では、市民一人一人のごみ減量化、リサイクルへの意識付けを目指すものであり、価格改定のほかにも減量化、リサイクル推進のためのPR活動などの施策も展開し、平成33年度には市民1人1日当たりのごみ排出量1000グラム以下の目標を達成できるように努めていきたい。

○質疑 市民の負担はどれくらい増えるか。

▼答弁 最も枚数の多い「もえるごみ大サイズ」を例にとると、1世帯が週2回毎回ごみを1袋ずつ出した場合、年間で1世帯当たり約100枚購入していることとなり、3000円程度負担していることとなる。今回の改定では、1枚当たり9円の増加となるので、年間では1世帯当たり900円の支出増と想定している。

【議案第51号】平成28年度むつ市一般会計補正予算

○質疑 旧本庁舎の跡地貸付料について

▼答弁 平成25年3月の第215回定例会の行政報告において、旧庁舎跡地の利活用に係る行政報告の中で、その一部をリサイクル燃料貯蔵株式会社社員寮建設用地として貸付することを報告した。その後、操業開始時期の見直しに伴い、現在まで保留としていたが、この度、9月からの借用の申し入れがあったことから8月31日に同社と正式に土地賃貸借契約を締結し、貸付面積は、むつ市金谷一丁目46番1の内4779.94平方メートル、貸付期間は、平成28年9月1日から平成78年8月31日までの50年間、貸付料は年間316万9140円とし、今年度については9月から3月までの7カ月分を予算計上したものである。

○質疑 ふるさと納税寄附金について、現時点での寄附額と今年度の見直しおよびリニューアルの効果について。

▼答弁 ふるさと納税の現時点での寄附額については、8月末現在で1041

件、2517万円となっており、昨年度の同時期を大きく上回っている。特にリニューアルを行った6月から8月の実績は、前年度の約2倍強で推移している。9月以降においても同様の推移になるものと見込んでおり、予算計上額の1億円は達成できるものと考えている。また、リニューアルの効果については、寄附金の設定額を従来1万5000円から1万円としたことで手軽にできるようになったことや、返礼品を増加させるとともに、高額商品の充実も図ったことから、魅力ある商品構成になったことが大きな要因ではないかと考えている。

【議案第53号】平成28年度むつ市介護保険特別会計補正予算

○質疑 介護給付費負担金を返還しなければならぬ理由。

▼答弁 介護給付費負担金等は、介護給付費および地域支援事業費にそれぞれ定められた割合に応じて、国・県および支払基金から交付されるものである。この度、返還金が生じた主な理由は、平成27年度の介護給付費および地域支援事業費の実績額が概算交付時点において、国・県および支払基金が見込んだ額より減額となったことから、負担金等の精算により、多く交付された分を返還するものである。

【議案第55号】平成27年度むつ市一般会計歳入歳出決算(総括質疑)

○質疑 平成27年度予算の執行により得られた効果や各事業および計画の進捗状況、また、効果が得られないと判断

した事業や施策と同時に今後廃止を検討する必要があると思われる事業や施策など、平成27年度の決算状況についてどう思うか。

▼答弁 実質収支、単年度収支が黒字、財政調整基金積立額も増加することができた。このことは、市民の皆様のご理解とご協力をいただきながら各種財源対策を実施している結果として、市財政が着実に健全化の方向に進んでいるものと考えている。一方で、地方交付税等の一般財源が今後減少していくことや市債残高等を考慮すると、市の財政はなお深刻かつ危機的な状況である。このような状況でも、むつ市の将来を切り拓く事業については、国や県そして民間に協力を仰ぎながら着実に実施してきた。また、出口の見えない赤字事業や施設については、関係者や市民の皆様への心情に思いを寄せ、苦渋の決断として廃止を行った。

討論(反対討論)

以下の3議案に対し反対討論がありました。

○議案第46号 むつ市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

○議案第55号 平成27年度むつ市一般会計歳入歳出決算

○議案第60号 平成27年度むつ市介護保険特別会計歳入歳出決算

議案名	議決結果	賛否	改革改新		公明・政友会			自民クラブ			市誠クラブ		創世むつ			会派に属しない議員											
			斉藤孝昭	富岡幸夫	村中徹也	菊池光弘	岡崎健吾	鎌田ちよ子	白井二郎	中野正志	野呂泰喜	濱田栄子	佐々木肇	浅利竹二郎	石田弘	菊池広志	東健而	佐賀英生	大瀧次男	半田義秋	富岡修	原田敏匡	山本留義	佐々木隆徳	工藤祥子	横垣成年	目時睦男
◆議案第 46 号 むつ市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	19:5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	欠	○	○	○	○	●	○	○	○	●	●	●	○
◆議案第 51 号 平成 28 年度むつ市一般会計補正予算 ◆議案第 55 号 平成 27 年度むつ市一般会計歳入歳出決算 ◆議案第 60 号 平成 27 年度むつ市介護保険特別会計歳入歳出決算	原案可決	21:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

**全会一致で原案可決となった案件および報告のみの案件：
9月13日採決【欠席1：東健而】**

- ◆議案第 49 号 人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて
- ◆議案第 50 号 人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて
- ◆報告第 25 号 平成 27 年度むつ市一般会計継続費精算報告書
- ◆報告第 28 号 専決処分した事項の報告について（和解及び損害賠償の額を定めることについて）
- ◆報告第 29 号 専決処分した事項の報告について（和解及び損害賠償の額を定めることについて）

全会一致で原案可決・認定および報告のみの案件：9月23日採決【欠席1：東健而】

- ◆議案第 44 号 むつ市過疎地域自立促進基金条例
- ◆議案第 45 号 むつ市総合開発審議会条例の一部を改正する条例
- ◆議案第 47 号 工事請負契約について（大畑町魚市場建設第 2 期工事に係る工事請負契約を締結するためのもの）
- ◆議案第 48 号 むつ市過疎地域自立促進計画の変更について
- ◆議案第 52 号 平成 28 年度むつ市国民健康保険特別会計補正予算

- ◆議案第 53 号 平成 28 年度むつ市介護保険特別会計補正予算
- ◆議案第 54 号 平成 28 年度むつ市魚市場事業特別会計補正予算
- ◆議案第 56 号 平成 27 年度むつ市国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- ◆議案第 57 号 平成 27 年度むつ市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- ◆議案第 58 号 平成 27 年度むつ市下水道事業特別会計歳入歳出決算
- ◆議案第 59 号 平成 27 年度むつ市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算
- ◆議案第 61 号 平成 27 年度魚市場事業特別会計歳入歳出決算
- ◆議案第 62 号 平成 27 年度水道事業会計利益剰余金の処分について
- ◆議案第 63 号 平成 27 年度むつ市水道事業会計決算
- ◆議案第 64 号 財産の処分について（むつ市分収林設定条例の規定に基づく契約により設定した分収林の立木を売り払い、その収益を造林者との間において分収するためのもの）
- ◆議案第 65 号 平成 28 年度むつ市一般会計補正予算
- ◆報告第 26 号 平成 27 年度むつ市健全化判断比率について
- ◆報告第 27 号 平成 27 年度むつ市公営企業会計資金不足比率について

※○は賛成、●は反対、「欠」は欠席または採決の際に不在の者、「退」は退席、「除」は除斥（地方自治法第 117 条の規定により、審議事件と一定の利害関係を有するため審議に参加することができない者）、議長（浅利竹二郎）は採決に加わらない（全議員 26 名 採決対象議員数 25 名）

日曜議会を開催しました

市政に対する市民の関心を高めるとともに、議会の活性化につながることを目的として、むつ市議会では初めての試みとして9月11日に「日曜議会」を開催しました。

当日は4人の議員が一般質問を行い、市内外から21名の方に傍聴いただきました。



平成27年度 むつ市一般会計歳入歳出決算ほか、 各会計決算議案を可決・認定

平成27年度の一般会計・特別会計・水道事業会計の各決算等は、議長および議会選出の監査委員を除く全議員で構成された決算審査特別委員会(委員長:野呂泰喜議員・副委員長:原田敏匡議員)で審査されました。

決算審査特別委員会の審査結果は、一般会計歳入歳出決算、介護保険特別会計歳入歳出決算については、それぞれ委員1名より反対討論がありましたが、賛成多数で認定すべきものと決定し、ほかの特別会計決算等については、全会一致で可決・認定すべきものと決定いたしました。

このページでは、決算審査特別委員会での質疑内容等について、その一部をご紹介します。



決算審査特別委員会
野呂泰喜委員長

★一般会計

歳入額	歳出額	歳入歳出差引
345 億 630 万 2768 円	340 億 2943 万 2114 円	4 億 7687 万 654 円

※繰越明許費を差し引いた実質収支(黒字)額は、4 億 6777 万 5654 円

★むつ市健全化判断比率

実質公債費比率	将来負担比率
16.9 (25.0) %	182.8 (350.0) %

※()内の数字はむつ市の早期健全化基準を示す

主な質疑と答弁(一般会計)

★地方創生先行型事業費(創業支援事業)

○質疑 創業件数と職種について。
○答弁 創業件数は20件であり、市の創業支援事業を利用した方が7件、残りの13件は市の支援窓口を経由しないで創業している。また、業種については飲食業を中心に創業している。

★児童福祉総務費(放課後児童健全育成事業)

○質疑 児童数に対する指導員数にばらつきがあるが、どのような対策を行っているのか。
○答弁 配置計画として、一つの支援単位を概ね40名としており、40名につき支援員を2名、そのうち1名は補助員でもかまわないこととなっており、概ね標準通りの配置となっている。

★斎場管理費(むつ市斎場長寿命化事業)

○質疑 事業結果から今後どのように変わるのか。
○答弁 むつ斎場については平成26年度に外構部分で屋根の張替えを行い、今年度は未だ改装中だが内装の設備および電気工事を行っており、今後は10年ないし15年を目処に使用して行きたいと考えている。

★じん芥処理費(清掃センター維持管理費)

○質疑 川内、大畑および脇野沢地区にある旧清掃センターの現状について。

○答弁 川内および大畑の清掃センターについては、資源ごみの回収後に分別作業を行い、その後にアクセス・グリーンへ

運搬している。なお、脇野沢については平成28年度で閉鎖予定としている。

★商工振興費(プレミアム付き商品券発行支援事業)

○質疑 未換金額について。
○答弁 むつ商工会議所発行分が108万9千円、むつ市川内町商工会発行分として33万4000円、大畑町商工会発行分として21万7000円となり、合計で163万1000円が未換金であるとの報告を受けている。

★非常備消防費(非常備消防事務委託)

○質疑 消防団員は年々手数が少なく減少が著しいが、今後の対策として「消防団応援の店」などの対策で消防団員の確保に努めてはどうか。
○答弁 市の消防団員確保の取り組みとして、消防団協力事業所表示制度を導入し、市では市内に事業所の有無を問わず消防団員が2名以上勤務していることを条件に表示証を交付しており、平成28年4月1日現在で48事業所を認定している。「消防団応援の店」等の取り組みについても、今後検討していきたい。

★義務教育振興費(外国語指導助手派遣事業)

○質疑 小学校における外国語指導の状況について。

○答弁 小学5、6年生を対象に行っており、文部科学省で教材を製作し、覚えるのではなく、慣れ親しむことを目標としており、各校では子供たちが慣れ親しむようALTの先生方を活用している。なお、学校によっては低学年から英語に慣

れ親しませる時間を確保しているが、時間数については各学校に任せている。

★**小学校管理費（非構造部耐震化調査改修事業）**

○**質疑** 文部科学省の学校施設環境改善交付金を利用し改修しているが、この交付金は毎年交付されるものなのか。また、今後の改修予定について。

○**答弁** この補助金は平成27年度のみ補助金となっているが、文部科学省では非構造部材および耐震補強について大規模改修の名目で継続する予定であり、今後は大規模改修の補助金を活用して改修していくこととなる。今後の改修計画については、屋上防水、体育館の屋根の改修にシフトして行うこととなる。

★**体育施設管理費（むつ運動公園整備改修事業）**

○**質疑** 5年毎に更新する陸上競技場第二種公認に毎回約3000万円の経費が必要となるのか。また、第一種公認との違いは何か。

○**答弁** 5年毎に行われる第二種公認の更新については、日本陸上連盟の事前調査において、必要な部分を改修するものであり、その都度経費については変動する。また、第一種との違いについては、第二種は県大会レベル、第一種では東北大会レベル以上の大会が開催可能となるが、主な設備として、サブトラックが必要となる。

★**公債費**

○**質疑** 一時借入金利子について、平成26年度と比較すると6割以上も減額となっ

ているが、何か特別な対策をしたのか。

○**答弁** 平成26年度は、一般会計および介護保険特別会計の単年度収支が赤字だったのに対し、平成27年度は単年度収支が黒字となり、また、国民健康保険特別会計も黒字となったことから、歳計現金の収支のバランスがよく、資金不足に陥ることが平成26年度に比べ少なくなったため、一時借入金の借入額および借入日数が大幅に減少した。また、一時借入金の借入利率も平成21年度以来1.1パーセントであったが、平成27年度から0.9パーセントに引き下げてもらった。さらに、平成27年度の年度途中から基金からの繰替運用も開始し、これらの要因が重なり大幅な減額となったものと考えている。

★**歳入について**

○**質疑** 固定資産税が減額になった要因について。

○**答弁** 国の制度により3年毎に行われる土地と家屋の評価替えを行った結果、減額となったものである。なお、家屋については新築家屋があればその分固定資産税は増額要因となるが、評価替えで減額となる。また、土地については、土地の評価、地価調査等を加味する必要があるが、近年土地の下落傾向が続いており、家屋の税額の伸びとは別に土地は下落傾向にある。

★**主な質疑と答弁（特別会計等）**

★**国民健康保険特別会計歳入歳出決算**

○**質疑** 平成26年度に比べ不納欠損額が約2700万円ほど減額となっているが、地方税第15条の7第5項では、昨年に比べ件数で約300件、金額で約2900万

円落ち込んでいる主な理由について。

○**答弁** 不納欠損の処理については様々な方法があり、財産調査等をした上で、今後も資力が回復しないと認められたものを即時に欠損している。件数の差については、その年度において状況等も異なることから、このような差になったものと考えている。

○**質疑** 単年度収支は黒字となったが、平成30年度の県に移行する前までに黒字にしなければならぬといった指導はあるのか。

○**答弁** まず、単年度収支が黒字になったことについては、国保制度改革が平成30年度から行われることとなり、その前段として財政支援の拡充が平成27年度に行われ、保険基盤安定制度の中で保険者支援分が広がり、その結果調整交付金も増額になったことが黒字になった要因と考えている。また、平成27年度の制度改正は今後も続き、平成30年度からは新たに保険者努力支援制度が始まり、その分でも若干財政が改善すると言われているが、当市の累積赤字を平成30年度までに黒字にするのは難しいと考えている。なお、国の指導では今回の財政規模の拡大に併せて財政支援の拡充は、これまで社会保障制度が幾度となく代わり構造的な問題から繰上充用や法定外繰り入れが増え、これを踏まえ、それらを解消するための制度改正であるガイドライン等で示されているが、当市としては見込みとして平成30年度までに全額黒字になるとは考えていない。

★**下水道事業特別会計歳入歳出決算**

○**質疑** 下水道接続に対する市民へのPR

について。

○**答弁** 供用開始している区域内において戸別訪問し、下水道水洗化に対するパンフレットやチラシ等を用いて、下水道への接続をお願いしている。また、平成26年度から排水設備の助成金として10万円を限度として補助している制度も併せて説明し、水洗化の向上につなげていくこととしている。

○**質疑** むつ処理区の普及率が5.4パーセントで整備率が12.9ヘクターだが、普及率が低い。整備区域内の公共施設の接続率はどうなのか。普及率を上げるには公共施設から接続するべきではないか。

○**答弁** 公共施設としては、むつ総合病院図書館、第一田名部小学校が接続済みである。

★**介護保険特別会計歳入歳出決算**

○**質疑** 介護保険料改定による値上げ総額はいくらか。

○**答弁** 平成27年度に介護保険料月額基準額で5800円から6000円へ200円の改定が行われ、影響額については761万4000円の増額である。



完成が待たれる大畑町魚市場

原田敏匡議員



問 東北観光復興対策交付金に関する市の取り組みについて。

答 インバウンド(訪日外国人旅行)の誘客増加につなげるため、首都圏等の大学に留学中の学生を当地域に招致し、地域コミュニティや関係者との交流を図りながら、外国人の視点による新たな素材の掘り起こしを行い、外国人にとって興味深い地域資源が世界中へ発信され、むつ市に世界への扉が開かれることに期待する、「世界との架け橋」留学生によるむつ下北魅力発掘事業の実施と、外国人旅行者向け「グッドラクトリップ」という英語、中国語、韓国語の3カ国語を表記したパンフレットを制作する2事業を実施する。

横垣成年議員



問 国道338号むつバイパスから太田橋までの歩道のない区間は市の中心であり、トラックの通行が多い。児童・生徒の通行もかなりあり、冬は特に危険な区間である。一刻も早く歩道整備を県に申請すべき。

答 当区間は青森県が管理する国道338号であり、青森県に要望しているが未だ実現していない。市としてもこの路線は児童・生徒の通学路であり、大型車両等の交通量も多く、歩道の整備が必要であると認識しており、引き続き青森県に対し要望していく。

※上記のほか「財政中期見通しについて」、「合併特例債について」、「水産業のあり方について」、「大畑庁舎の現状と今後について」質問がありました。

石田勝弘議員



問 低投票率対策として期日前投票所をむつ総合病院内に設置せよ。設置期間が7日間の場合の必要経費はいくらか。

答 初期費用として受付用パソコン等の備品購入費分が約140万円、投票立会人や臨時職員の賃金等の経費が約80万円が必要だ。設置には今後社会情勢などを見極め研究する。

問 鳥獣による被害額とその対策をさせ。

答 過去2年間の農作物被害はサル・カモシカによるものが247万8000円、クマが56万4000円だった。今年は8月末でクマだけで47万円と多い。対策として捕獲檻を設置し、27頭を捕獲した。クマ用忌避剤を設置した畑では、今のところ被害はない。

佐々木隆徳議員



問 脇野沢地区の振興を図るべき。

答 脇野沢地区の振興にはジオパーク活動が効果的だと考えており、地域に元々ある色々な資源を更に磨き上げ、それを教育活動や経済活動につなげ、地域の活性化を図りたい。

問 夢の平成号を利用して鯛島の利活用を図るべき。

答 市民や観光客が上陸できるよう、夢の平成号を運行させる方向で準備を進めており、脇野沢の観光振興を図りたい。

問 休館中の脇野沢温泉の今後の見通しを問う。

答 何らかの形で再開させたいと考えており、現在外部機関に設備の改修方法や経費の試算を委託している。

佐賀英生議員



問 ICT(インフォメーション・アンド・テクノロジー)教育の導入と今後。

答 モデル的に2018年度完成の、市立関根中学校に先進のICT機器を導入予定している。その上で、他自治体の活用事例を参考に効果を勘案しながら、検討して行きたい。また、市教育大綱に盛り込む方向で議論している。

問 コミュニティ・スクールについて。

答 導入した効果として、特色ある学校づくりがされたという一方で、人材確保等が困難な地域もあることや、理解促進が十分でないこと、学校評議委員等があるので、今後検討して行きたい。

※上記のほか「台風9・10号に関する被害状況」等の質問がありました。

大瀧次男議員



問 林業についての認識と今後の取り組みについて。

答 むつ市は広大な森林を所有しており、伐採、植栽、保育と林業のサイクルを確立し、計画的な経営を行うことにより、財政運営の財源の一つとして、有益な事業であると認識している。

問 公道の役割を果たしている私道は、舗装の有無に関らず、寄附採納を受け整備すべきではないか。

答 整備が行われていない道路であっても、その延長および幅員、並びに道路排水の流末などの要件を調査確認したうえで寄附採納の可否について判断をしている。

問 小学校の部活動について

答 部活動は教育課程外であり、地域での活動に移行するのが望ましい。

議会情報はホームページやフェイスブックから!

むつ市議会では、平成28年9月9日からフェイスブックを活用し、本会議、常任委員会および特別委員会等、市議会が主催する懇談会および報告会ならびに市議会からのお知らせ等について、積極的に情報発信を行うことにより、より身近で開かれた議会を目指します。

【ホームページ】



議会の概要や構成、議員名簿、会議録、請願・陳情の提出方法などについて掲載しています。

【フェイスブック】



市議会からのお知らせ、市議会の開催・活動状況に関する情報について、積極的に発信しています。

濱田栄子議員



問 日本ジオパークネットワーク加盟が認定され、今後英語版も含めたプロガイドの養成カリキュラム作りや他団体と連携をとり、植樹体験や観光を含めた環境を学ぶジオ研修プログラムを組み、未来へのジオパークとして国内外から誘客すべきと思うが考えを問う。

答 専門的知識や英会話でのガイド養成に取り組む。関係団体と連携し、下北の特徴を打ち出したツアーの開発やジオに関する各種大会を誘致し、地域活性化に結び付けたい。将来的にはユネスコの世界ジオパークを目指す。

問 老朽化し雨もり状態にある大畑庁舎と大畑公民館について問う。

答 今後しっかり対応していく。

工藤祥子議員



問 江戸中期から明治中期まで北前船での交易、文化交流が盛んに行われたことで各地の元寄港地が協議会を組織し「日本遺産」登録を目指している。寄港地だったむつ市下北にも、各地のまつりを始め、ゆかりの物が多数あり、豊かな歴史、文化を育んできた。他の寄港地とつながり、むつ下北の新しい魅力を発信すべき。

答 今回認定されたジオパークの取り組みを活用しながら、日本遺産ということだけでなく北前船文化を発信して行きたい。

問 かわうちまりんびーち等のオープン期間が短縮されたが元に戻すべき。

答 昨年の入場者数等を踏まえコスト削減を図った。要望等を踏まえ、来年度は検討したい。

鎌田ちよこ議員



問 あかりでみまもるまちづくりについて。

答 電気料金の負担軽減や環境負荷の低減を図る民間のノウハウと資金や技術力を活用したESCO事業導入で街路灯全面LED化により年間約1500万円削減になる。県内一広い夜のまちを新しいあかりで安全と安心なまちづくりに努める。

※上記のほか、市民協働まちづくりへ公益活動対象の市民活動保険を導入すべきではないか。圏域別がん死亡率で全がん下北男性1位、女性8位、男性胃がん1位、女性大腸がん2位だったがん対策について。新生児の難聴検査導入について。マイナンバー制度の円滑な運用へ証明写真機設置等の質問がありました。

第4回むつ市議会議会報告会および市民との意見交換会

《 日程 》

◆平成28年11月5日(土) 18時～

- ・むつかさい館
- ・川内庁舎
- ・脇野沢地域交流センター

◆平成28年11月6日(日) 14時～

- ・むつ中央公民館
- ・大畑公民館



申込・参加費不要です

第2班
むつ市中央公民館



佐々木隆徳 菊池広志 菊池光弘 村中徹也 濱田栄子

テーマ「地域のにぎわいづくりについて」

第4班
大畑公民館



原田敬匡 岡崎健吾 大瀧次男 富岡幸夫 中村正志

テーマ「空き公共施設の活用について」

【 意見交換会は各会場ごとにテーマを設けて実施します 】

第1班
むつ来さい館



横垣成年 川下八十美 鎌田ちよこ 半田義秋 野呂泰喜

テーマ「市政全般について」

第3班
川内庁舎



工藤祥子 石田勝弘 佐賀英生 白井二郎 佐々木肇

テーマ「一次産業の振興について」

第5班
脇野沢地域交流センター



山本留義 目崎健男 東健而 高橋孝昭 富岡修

テーマ「脇野沢地域の課題は何か」

浅利竹二郎議長は
フリー参加するのじゃ



菊池光弘議員



問 冠水被害の柳町三丁目について。

答 豪雨の際には、冠水が頻繁に発生する地域であることから、同地についても今後排水施設整備に向け検討していく。

問 港湾整備事業について。

答 観光振興の拠点を目指すために、現在の岸壁水深7.5メートルから大型客船の入港可能な水深まで拡充整備について関係機関と協議して行きたい。

問 ヘルプカード普及事業の実施と市民への周知対策について。

答 ヘルプカードは、今年10月上旬に希望する方々へ配布を始める。障がいのある方が安心して暮らすことができるよう普及促進に努める。

議会傍聴について

むつ市議会では、3月、6月、9月、12月の定例会や臨時会で、市民の皆様のご生活に関係の深い議案等を審議します。

傍聴はどなたでもできますが、簡単な手続きが必要です。

傍聴を希望される方は、当日直接議場にお越しください。

【お問い合わせ】 むつ市議会事務局 ☎0175 (22) 1111 内線3613

各常任委員会での審査内容や委員会の活動についてご紹介します。

【総務教育常任委員会】

○9月13日付託議案審査

総務教育常任委員会に付託された3議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、3議案全てについて全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

(委員会審査における主なる質疑)

・議案第48号 むつ市過疎地域自立促進計画の変更について

Q 小中学校校舎等解体事業は計画どおり行われるのか。

A 当該計画により則り順次計画どおり解体していく。

Q スクールバス運行事業を追加した経緯について。

A 過疎地域自立促進特別事業、いわゆるソフト事業に係る過疎対策事業債発行限度額内で検討した結果であるが、今後ほかの地域振興への活用も検討していきたい。

【その他の活動】

○所管事務調査

・解体を要する公共施設の現状と今後の予定について

【産業建設常任委員会】

○9月13日付託議案審査

産業建設常任委員会に付託された4議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、4議案全てについて全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

(委員会審査における主なる質疑)

・議案第64号 財産の処分について(むつ市分収林設定条例の規定に基づく契約により設定した分収林の立木を売り払い、

その収益を造林者との間において分収するためのもの)

Q 契約を締結している組合は他にもあるのか、また、来年度以降の計画はどうなっているのか。

A 市有林野における分収林は現在10件の契約が残っており、来年度以降についても伐期の時期を勘案しながら分収林組合と協議して進めていく。

【民生福祉常任委員会】

○9月13日付託議案審査

民生福祉常任委員会に付託された3議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、議案第46号むつ市廃棄物及び清掃に関する条例の一部を改正する条例については反対討論があったが賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定し、ほか2議案については全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

(委員会審査における主なる質疑)

・議案第46号 むつ市廃棄物及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

Q ごみ袋の額の改定を提案する前にごみの減量化に対する啓発活動や丁寧な指導、住民との対話を行う必要があったのではないか。

A 広報むつでの情報発信や段ボールコンポスタの講習会、街頭での雑紙の回収のPRなど様々な活動のほか、小型家電や再利用可能な衣類の回収などの事業を実施しており、今後も継続して取り組んでいきたい。

Q 資源ごみの袋が値下げになった理由。

A 燃えるごみ、燃えないごみの中になが

の資源ごみが混入されている状況にあるため、資源ごみを分別するように誘導したいという思いから値下げをしている。

Q 一人当たりのごみの排出量が県内で3番目に多い理由を調査したことがあるのか。

A 現在まで詳細な調査を行っていない。(この答弁に対し委員から)

※効果的にごみの減量を図るため、原因を探る調査の実施を求める意見があった

※ごみの減量化のために何が得策なのかを第一に考えて、今後、各地域の町内会等を通じてごみに特化した行政の考えを伝える会合を開催すべきとの意見が出された。

・議案第52号 平成28年度むつ市国民健康保険特別会計補正予算

Q 市内のC型肝炎の人数について。

A 保険適用された薬剤は昨年の夏に認可され、むつ市国民健康保険の被保険者についても昨年の10月頃から治療している方が出てきており、7月までの診療分で36件を確認している。

・議案第53号 平成28年度むつ市介護保険特別会計補正予算

Q 人件費の増加は職員が1人増えたということか。

A 直営の地域包括支援センターの職員が1名増になった。

【その他の活動】

○所管事務調査

・各種健康診断の受診状況と健診後の保健指導について
・発達障害児に対する支援の現状と課題について

編集後記

今年の夏は、暑く長い夏でしたが、8月から9月にかけての台風9号、10号は、当市においても農業を中心に大きな被害が報告されており、被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

明るいニュースといたしましては、日本ジオパークネットワーク加盟が認定されるという大きな出来事がありました。今後、ジオを活用したまちづくりが期待されます。市民の皆様より一層のご協力をお願いいたします。

むつ市議会といたしまして、市民に開かれた議会を目指して、第229回定例会におきまして初めて日曜議会を開催いたしました。午前中は20名以上の方が訪れましたが、午後は平日と変わらない様子でした。今後も市民の皆様とともに歩み続ける議会を目指し、なお一層の努力を重ねてまいります。

編集 広報広聴委員会

委員	長	横垣成年	副委員	長	中村正志
委員	員	目時睦男	員	員	石田勝弘
		菊池光弘			佐賀英生
		齊藤孝昭			濱田

お問い合わせ先
むつ市議会事務局

〒035-8686 青森県むつ市中央一丁目8番1号
☎0175-22-1111 内線 3613

※議会だよりでお知らせした内容の詳細については、今後ホームページ等で公表される会議録をご覧ください。